

市民の立場からの寄稿



新エネルギーで思うところ 革新的取組に期待

山口 利勝

三協興産株式会社

〒210-0867 神奈川県川崎市

現在の地球環境を思うと、とても不安である。また、世界経済の先行きと日本経済の先行きを考えると、暗雲が立ちこめている。地球誕生から約46億年と言う、とてつもない気の遠くなる様な長い時間をかけて生物が生存可能状態の環境を整えてくれた地球。それを思うと、とても大切な掛替えのない地球環境であることがわかる。しかし、我々人類は化石燃料を発見し産業革命以降、利用拡大を図り、環境を犠牲に経済発展をしてきた。その間、資源・エネルギーの争奪戦の末、多大な犠牲を出した過ちを犯した。現在は、地球規模で格差社会が広がっている。

先進国と発展途上国の価値の格差である。このような状態を未来の人達に後回しにすることはできないと強く思う。現在の我々が未来の地球のために、全身全霊を掛けて解決の糸口を作るべきである。そこで断然注目されるのが、バイオマス由来のエネルギーと自然エネルギーの新エネルギーである。栽培技術を駆使し作れるバイオマスが将来的には断然有利だと思う。しかし、今はバイオマスでも食糧や飼料部分を利用している。これでは、将来の利用拡大は望めないと思う。そこで、食糧や飼料を大量生産できる生産技術の開発が不可欠である。食糧や飼料の収穫後の副産物を大いに利用するべきである。いわゆるセルロースの利用拡大がカギになると思う。しかし、日本の国土では生産できる面積が狭いので、陸と海からの生産技術を駆使し、大量生産すべきである。全世界が平等に太陽光・熱エネルギーの恩恵を受けている。この恩恵を現代人は最大限に利用し、未来の人類に誇りを持って受け継がせるべきであると思う。そこで、注目すべきは水素だと思う。なぜか？バイオエタノールは、ガソリン等の添加剤止まりだと思われる。水素は、それ自体燃料で利用できる。燃料電池等への利用は効果が大きいと思う。水素エネルギー・燃料電池等に関わる全て

の技術者、科学者等関係者の活躍が、人類の将来に多大な貢献をすると思う。現在は、化石燃料由来の水素生産が支流であるが、将来的にはセルロース等からの生産が支流に成るのではないか。

かけがえのない地球を、人類は愚かな争いやエゴの犠牲にするべきではない。世界の人口増加、食糧危機等、また、気候変動による大災害等の解決策を日本から世界に先駆けて発信、行動すべきである。私は、水素エネルギー・燃料電池等の関係者に大いに期待しています。50年・100年・200年後の人類の為に、深い自覚と強い使命感と最高の誇りを胸に、全力で取り組んでほしい。